☑ 新規
□ 変更

申請日：2021 年 7 月 8 日

レジメン登録申請書

がん（癌）種：膀胱癌

申請診療科：泌尿器 科　申請医師：中里 武彦　内線：

レジメン名称：GCarbo

化学療法委員会医師：中里 武彦　内線：

	No	薬品名	規格	投与量	投与ルート 手技	点滴時間 速度	day 1	day 2～7	day 8	day 9～21	day 22	day	day	day	day	day	day
化学療法（抗癌剤）	2	ゲムシタビン注	1000mg・200mg	1000mg/㎡	点滴注射	30分	○	×	○	×	次のクールへ						
		生理食塩液	100mL	※100mL													
			※全量が100mLになるよう調節														
	3	カルボプラチン注	450mg・150mg・	AUC5	点滴注射	1時間	○	×	×	×	次のクールへ						
		生理食塩液	250mL	250mL													
補助療法	1	グラニセトロン注	3mg	3mg	点滴注射	15分	○	×	×	×	次のクールへ						
		デキサメタゾン注	1.65mg	6.6mg			○		○								
		生理食塩液	50mL	50mL													

上記で使用する抗癌剤情報

No	薬品名	規格	標準値	上限値	累積 投与量

サマリーコメント（申請理由・趣旨）

中里医師よりCBDCAについては下記の通り申請。
・投与量はAUC5
・1時間かけて投与
（膀胱癌診療ガイドラインにおけるEORTC study 30986より増量）

適応外で、倫理委員会・医学研究等の承認を得た場合は資料を添付してください。

2 週投与　1 週休薬
1クールの日数：21 日
レジメン基準日：day 1

委員長	事務局	薬剤部

※抗癌剤の標準値と上限値は必ず記入して下さい　注意：同一処方内容の場合でも投与時間が異なるときは別のNoに記載してください
※単位はmg/㎡，mg/body，mg/kg　1クールの日数とレジメン基準日は必ず記入して下さい

化学療法委員会　平成 22 年 9 月 2 日作成

☑ 新規
□ 変更

申請日: 2021 年 7 月 8 日

化学療法治療計画書（プロトコール）

がん（癌）種: 膀胱癌

実施診療科: 泌尿器 科

実施医師: 中里 武彦

内線:

レジメン名称: GCarbo

クール数:

2 週投与 1 週休薬

1クールの日数: 21 日

レジメン基準日: day 1

身長: cm

体重: kg

体表面積: ㎡

患者ID:

患者氏名:

実施部署:

	実施日						月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
	No	薬品名	規格	投与量	投与ルート 手技	点滴時間 速度	day 〔 1 〕	day 〔 2～7 〕	day 〔 8 〕	day 〔9～21〕	day 〔 22 〕	day 〔 〕	day 〔 〕	day 〔 〕	day 〔 〕	day 〔 〕	day 〔 〕
化学療法（抗癌剤）	1	グラニセトロン注	3mg	3mg	点滴注射	15分	○	×	×	×	次のクールへ						
		デキサメタゾン注	1.65mg	6.6mg			○		○								
		生理食塩液	50mL	50mL													
	2	ゲムシタビン注	1000mg・200mg	1000mg/㎡	点滴注射	30分	○	×	○	×	次のクールへ						
		生理食塩液	100mL	※100mL													
			※全量が100mLになるよう調節														
	3	カルボプラチン注	450mg・150mg・	AUC5	点滴注射	1時間	○	×	×	×	次のクールへ						
		生理食塩液	250mL	250mL													
	4	生理食塩液	50mL	50mL	点滴注射	5分	○	×	○	×	次のクールへ						

腎機能障害（CCr<60mL/分）を有するStageⅣの膀胱癌に対して、GCarbo療法は腎機能障害以外の予後不良因子がない症例には考慮することが推奨される。
（膀胱癌診療ガイドライン 2019年版 日本泌尿器科学会
CQ22 推奨の強さ2、エビデンスの確実性 B）

奏効率、OSともにシスプラチン・ベースのレジメンがカルボプラチン・ベースのレジメンよりも優れていた。
毒性に関しては、GCとGCarboに差はない。
シスプラチンfit患者に対してはカルボプラチンではなく、シスプラチン・ベースのレジメンが推奨される。
（膀胱癌診療ガイドライン 2019年版 日本泌尿器科学会
Ⅵ.StageⅣ膀胱癌の治療 総論）